

行動宣言

世界は今、新自由主義と資本のためのグローバル化によって、格差と分断に覆われている。分配の不公平さによって生み出された紛争や戦争、貧困は、人々から日々の人間としての営みの意味をも奪ってしまった。また、中産階級の世界的凋落は、煽動的な言葉に刺激され、かれら以上に持たざる者達への排除や攻撃へと向かい始めている。それでも、あまりにも肥大化した金融資本経済は、理性なき野獣のようにとどまるところを知らず、さらなる格差と分断の中に私たちを落とし込もうとしている。規制の枠組みは、その効力をはきりと失いつつあるのだ。

日本においても格差と分断は、大きく私たちの日常にその暗い影を落としている。子どもの相対的貧困率や大学生の奨学金問題、声高に叫ばれるヘイトスピーチや津久井やまゆり園での許されざる事件…。出口の見えないことへの徒労感と諦め…。

資本が海外へ逃げないために、世界一企業が活動しやすい国にする。と為政者が発言するとき、それは、働く者にとっては、労働の意味や賃金、労働時間が限りなく無法に搾取されることでもあったのだ。経済が国家を超える姿は明確になり、政治はその目的を迷えつつあると言える。そのため、格差や分断の問題は、巧妙に隠蔽され、異議を唱えることもできず、人々はただ窒息しない程度に息をしているだけなのかもしれない。

他方、日本は世界の中でもトップを切って縮小社会に突入した。だが依然として関東圏への一極集中はますます顕著であり、地方における地域経済とコミュニティの破壊は加速度を増している。地方と高齢者の切り捨てが、今はっきりと始まった。

熱に浮かされたように、それでも発展・拡大する社会を求める政治・経済の流れに、ゆがみはますます激しく、私たちを苦しめることになるだろう。

私たち Ed. ベンチャーは、教育支援グループとして、弱い立場に立つ子どもたちの支援に取り組んできた。それはある意味、現在の社会の中での「補完」的な役割を担うことであつたし、また、分配に生じた誤差を再分配し直す取り組みであつたとも言える。しかし、この数年の世界や日本の状況の変化を考えると、私たちは私たちの行動の原理を変えざるを得ないところに来ている。つまり、「補完」する立場から、「異議」を唱え、「提起」する立場へと移行するということである。

これからの社会が進むべき道を少しでも明確にしつつ、その視点から教育を、そして弱い立場に立たされている子どもたちをとらえ直し、ていかなければならない。

- 1 Ed. ベンチャーは、成熟社会を目指し、競争的でない、多様性を認め、持続可能な社会を構築する視点から、教育や私たちの活動を見直します。
- 2 1の視点での実践や研究、支援を積極的に行います。
- 3 外国にルーツを持つ子どもたち、障がいを持つ子どもたち、貧困におかれた子どもたちへの教育支援を行います。
- 4 原子力発電への反対を表明し続けます。

NPO 法人 教育支援グループ Ed. ベンチャー



2017年2月25日 総会にて採択

ぜひ私たちの活動に
ご参加・ご支援・ご協力ください。

正会員 (①②のいずれか、総会での議決権があります)

- ①年会費 1口6000円 1口以上
- ②積極的に活動に参加している学生(会費免除)

賛助会員 (総会での議決権はありません)

活動に賛同する寄付(任意の金額)

任意の金額のご寄付により、賛助会員となり、
寄付をいただいた年は会員サービスを正会員同様に
受けることができます。

■ 入会・寄付のお申し込み方法

入会申込書にご記入いただいて事務局にお持ちいただくか、Eメールまたはファックス、郵送にてお送りいただき、下記の方法にて会費をご納入ください。入会申込書をお持ちでない方は、ホームページからダウンロードしていただくか、事務局にご連絡ください。

■ 会費納入方法

【年会費・賛助会費(寄付)振込】

三井住友銀行 大和支店 普通 1368176
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
横浜銀行 中央林間支店 普通 6008076
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
ゆうちょ銀行 振替口座 00210-5-46744
(特非)教育支援グループ Ed.ベンチャー

他金融機関からの振込用口座番号 ○二九(ゼロニキュウ) 当座 0046744

お問い合わせ先 Ed.ベンチャー事務局



〒242-0007
大和市中央林間 3-16-12
グリーンコーポ中央林間107
(小田急江ノ島線「中央林間」駅西口徒歩5分)
TEL & FAX 046-272-8980
メールアドレス
toiawase@edventure.jp
ホームページ
https://edventure.jp



NPO法人 教育支援グループ

Ed. ベンチャー

2024年 活動予定

私たちはこんな活動をしています

- ◆ 外国人や弱い立場の子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学習に遅れる子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学校が必要とするさまざまな支援 ◆
- ◆ 教職員とともに教育を考える活動 ◆
- ◆ 市民とともに教育課題を考える活動 ◆

☆弱い立場の者が大切にされる社会を目指して☆

☆多様な価値観や文化が豊かさにつながることを目指して☆

弱い立場にいる子どもたちの幸せを願って

Ed. ベンチャーが立ち上がってから17年が経ちました。

しかし、子どもたちを取り巻く状況はますます厳しいものになりました。

貧困と格差は拡大し、家族はますます社会の中で孤立しています。

グローバル経済の進行は、子どもたちにさらなる競争を求め

学校も家庭も子どもたちが安心できる場所ではなくなりつつあります。

社会の行く先がますます不透明になり

「不安」ばかりが人々の心を占める時代となりました。

それでも、私たちは粘り強く、子どもたちが「必要とするもの」を提供するために

これからも取り組みを進めていきます。

2024年 学習会中心テーマ

「平和」を語る言葉を紡ぎなおす

※詳しくは見開き中央をご覧ください。



2024年4月からの活動予定

※変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

学校支援事業

●理論学習会〈対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド〉

メインテーマ 「学校だからこそできること」を探して

参加者と議論することを通して、学校が置かれている状況や課題を整理するとともに、今後の学校の在り方を探っていききたい。

具体的な柱

- ① 競争を前提とした戦後の学力観を問い直す。違いを比べて優劣をつけるのではなく、一人ひとりの子どもがもつ個性を尊重して、人との関わりの中で学び合いをするには、どのような方法があるのか。今後の学校の在り方を模索する。
- ② 世界で戦争が絶えない今、子どもたちに戦禍を想像させたり、平和を追求したりすることなど、戦争のない未来を創っていくために、何を伝え、何を一緒に考えていくべきか。教育活動の中でできることを考える。

- 4月27日(土)13:30～15:30
「戦後の学力観における学校現場の限界」
- 6月15日(土)13:30～15:30
「子どもが戦争と平和への理解を深めるためには」
- 8月24日(土)13:30～15:30
「人との関わりの中で学び合う学校から学ぶ①」
- 10月26日(土)13:30～15:30
「人との関わりの中で学び合う学校から学ぶ②」
- 12月14日(土)13:30～15:30
「学校が生まれ変わるために、新たな学びの形を考える」

●外国人の子ども理解のための学習会

【学習会】と【事例研究会】の二本立てで、外国人の子どもへの理解を深めていきます。

【学習会】対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド

- 4月23日(火)19:00～21:00
講演会：「外国にルーツのある子どもたちの来日経緯を知る～自分史作りがもたらす可能性～」
講師：清水 睦美氏(日本女子大学教授)
- 8月6日(火)13:00～16:00
実践報告会：「外国人の子どもとの対話による自己形成～国際教室の実践を通して～」
講師：小林 加奈氏(大和市小学校教諭)
藤木 仁美氏(座間市中学校教諭)

【事例研究会】オンライン(Zoom)月1回(1・2・4・8・12月は除く)全7回

水曜日開催 19:00～21:00 3・6・9・11月
土曜日開催 13:30～15:30 5・7・10月

●授業研究会〈対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド〉

どのような子どもたちも排除されずに学べる教室空間の形成を目指して、実際の教室空間で起きている事柄を語ることを通して、阻害要因をあぶり出し、そうした要因との対峙の方法を検討していく。

- 4月27日(土)16:30～18:00
- 6月15日(土)16:30～18:00
- 8月24日(土)16:30～18:00
- 10月26日(土)16:30～18:00
- 12月14日(土)16:30～18:00

●インクルーシブな社会を目指す学習会

柱1：「子どもアドボカシー」について学ぶ。

柱2：学校現場におけるインクルーシブの実際を知る

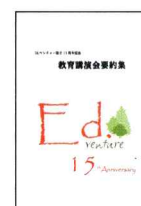
- 5月8日(水)19:30～21:00
学習会：「子どもアドボカシーを知っていますか～子どもの声を聴く意味、そして私たち一人ひとりができること」
講師：NPO法人子どもアドボカシーをすすめる会TOKYO
- 6月4日(火)19:30～21:00
学習会：「インクルーシブ教育実践推進校から見るインクルーシブ教育のこれから」
講師：竹本 弥生氏(県立綾瀬高等学校元校長)
- 7月4日(木)、10月10日(木)、11月28日(木)19:30～21:00
事例研究会：中学校におけるインクルーシブの実践
報告者：森尾 宙氏(座間市立中学校教諭)
藤本 健氏(座間市立中学校教諭)
- 12月6日(金)19:30～21:00
実践報告：『子どもアドボカシー』学習会を経ての実践

2024年度の核となるテーマ

「平和」を語る言葉を紡ぎなおす

誰しもが平和の大切さを口にはすれど、それはどれもこれも似た言葉であって、内面をしっかりと潜り抜けてきた言葉ではない。ここでも言葉は奪われ続けてきた。日本軍の加害性には触れることができない教育現場には、やはり政治的な重圧がかかっていることの証であり、それこそ「平和」は奪われてしまっているのだ。「仲間や自分を守るための戦争」はいつの間にか是とされ、武器の輸出までが始まっている。まさしく日本における「平和」は、虫食いの状態のスカスカになっているのだ。今こそ私たちは、この問題にそれぞれが向き合い、言葉を内側から紡ぎだして語り合わねばならないし、そのとき、お互いの言葉は共鳴し、新たなステップへと進む可能性が見えてくるのではないだろうか。平和を守ることは、決して人を殺すことではないことを、私たち自身がまずはしっかりと理解しなければならない。

Ed.ベンチャーでは、10周年と15周年に、活動の記録を刊行しました。ご興味のある方は、toiawase@edventure.jpまでお問い合わせください。



15周年表紙



10周年表紙

外国人支援事業

●子どもの居場所・学習支援教室 (エステレージャ・ハッピー教室)

【日時：毎週土曜日 10:30～12:30 場所：大和市立林間小学校など】

外国にルーツのある子どもの居場所作りと学習支援を行います。家庭や学校の話を丁寧に聞いて可能な範囲で支援をしたり解決を図ったりしながら、学習の支援をしています。小中学生が共に体験したり学んだり話し合ったりすることを通して、異年齢の仲間と協力し、お互いの考えを知り自分の考えを深められるように、集団で学ぶ時間を設けています。

〈小学生教室〉

学習や遊びを通して子ども同士の関わりが深まるように促していきます。宿題の他、国語・算数を中心に学年ごとの習得すべき内容の教材を用意して支援します。

〈中学生教室〉

丁寧な説明を加えながら学習を進め、学習内容の理解を深めていくようにします。定期テストや高校受験のための特別な支援も行います。2、3年生向けに、先輩の経験から進路について学ぶ機会を持ちます。

〈母語教室〉

子どもたちの母語の維持、獲得のために、母語話者スタッフあるいは外部講師による母語教室を定期的に開催します。



普及啓発事業

●教育相談

学校・教師・行政・子ども・保護者・外国人当事者・支援団体等の各種相談に応じています。これらの相談事業をととして、当事者のニーズの把握と必要な支援を行うための事業の展開も検討していきます。ご相談のある方は、気軽に事務局にお問い合わせください！一緒に考えていきましょう！

●多言語若手通訳者派遣

若手の通訳者の育成を目的として、多言語の通訳者派遣を行っています。経験が浅い部分を、Ed.ベンチャーのスタッフが通訳場面に付き添ったり、事前事後にフォローしたりします。今年度は、スペイン語・ベトナム語・カンボジア語・タガログ語の4言語の若手通訳者の派遣を行います。通訳・翻訳が必要な場合には、HPに申込書等がありますので、そちらをご覧ください。

●広報紙「Ed.ベンだより」の刊行

隔月で広報を刊行しています。「世界の視点を持って私たち自身の足元を見つめ、世界の動向を視野に入れつつ、足元の活動に取り組む」という目標のもと、現状分析に力を入れています。2014年の発行から10年で61号を数えています。今年度も、事業の案内や報告とともに、教育にかかわる社会状況を分析するための視点をお届けしたいと思います。既発行分はHPでご覧になれます。

